

コロンビア経済情勢（２月）

【ポイント】

- ２０２２年の成長率を中央銀行は４．３％、財務・公債省は５％と予測
- ２０２１年の成長率は１０．６％
- ２０２２年の通年インフレ率を中央銀行は４．３％と予測
- ２０２１年の失業率は１３．７％。２０２２年の失業率は１１．７％と予測
- 水素計画でオランダと協力

【本文】

１ 主な出来事

<国内情勢>

（１）経済成長

（ア）２０２２年の成長予測を下方修正（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、１日）

中央銀行は、金融政策報告書を公表し、２０２２年の成長予測を従来の４．７％から４．３％に下方修正した。理由としては、好調な個人消費は一時的なもので投資もダイナミックでないためとした。

（イ）コロンビアは地域で最高の成長（「エル・ヌエボ・シグロ」紙、２日）

国際通貨基金（IMF）は、コロンビアの成長予測を４．５％とした報告書を発表。同報告書では、高いペースで成長するラテンアメリカの中でも、コロンビアの成長は高い旨記述。

（ウ）２０２１年の経済成長率は１０．６％（「ラ・レプブリカ」紙、１６日）

国家統計庁（DANE）は、２０２１年の経済成長率を１０．６％と発表。同数値はシンクタンク等による最も楽観的な予測を上回った。また、新型コロナウイルス流行前の２０１９年と比べても、２．８％の実質成長率であった。

（エ）２０２２年財政計画を発表（「ラ・レプブリカ」紙、２３日）

財務・公債省は、２０２２年の財政計画を発表し、経済成長は５％で、中期財政枠組で予測された４．３％より高い数値とした。また、財政赤字予測は、GDP比で▲６．２％とし、２０２１年の中期財政目標の▲７％と比べ０．８ポイント改善を示した。２０２１年の徴税は、１６１兆ペソで中期財政計画より１１．１６兆ペソ増加し、２０２２年は総額１８３兆ペソの徴税が見込まれるとした。

（２）貿易

（ア）２０２１年の輸出は３２．７％増加（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、１日）

世界経済の再活性化により、2021年のコロンビアの輸出は、2020年と比べ32.7%増加した。燃料、採掘生産は47.9%増の196億8,550万米ドル、製造業は28.7%増の89億3,890万米ドルで、農業は94億4,030万米ドル、その他31億5,920万米ドルを記録した。

(イ) 農業輸出は増加（「エル・ヌエボ・シグロ」紙、「エスペクタドル」紙、3日）

2021年の農業輸出は19.9%増加し、増加率では、牛肉の100.9%、牛乳・派生品66%、タヒチライム58%、アボガド40.1%、パーム油23.8%が際立ち、コーヒー、花卉、バナナなどの伝統的商品は20.5%増加し成長を維持した。

(ウ) 輸入は新型コロナウイルス流行前と比べ15.9%増加（「ラ・レプブリカ」紙、「エスペクタドル」紙、14日）

国家統計庁（DANE）は、2021年の輸入は611億100万米ドルで、2020年の434億8,800万米ドルと比べ40.4%増加とし、新型コロナウイルス流行前の2019年の527億200万米ドルと比べても15.9%増加とした。

(3) インフレ

(ア) 2022年のインフレ率を第1四半期6.23%、通年4.3%と予測（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、「エスペクタドル」紙、3日）

中央銀行は、景気回復の最中、家計で特に食品価格が上昇を示しており、第1四半期は最大6.23%のインフレ率となると予測した。これは市場予測と一致しており、JPモルガンは1月に6.5%、2月に7%に達すると予測し、ボゴタ銀行は1月に6.4%と予測。また、中央銀行は、通年のインフレ率予測を4.3%、2023年は3.4%と示した。

(イ) 最もインフレの影響を受けた商品（「ポルタフォリオ」紙、9日）

インフレ報告によると、基本的商品（la canasta básica）の93%が年間価格上昇を示し、ジャガイモが年間140.16%と価格の急上昇が注目されるほか、油（48.52%）、キャッサバ（46.56%）、バナナ（42.05%）、牛肉類（34.86%）が上昇した。

(ウ) 食品のインフレは低下と予測（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、11日）

ビジャール中央銀行総裁は、インフレは金融政策決定に重要な影響を与えてきたが、第2四半期に食品のインフレは大幅に低下すると予測を述べた。最近の状

況（１月のインフレは６．９４％）を、加速し始めたインフレに低金利は必要でなく適してもおらず、インフレは目標から外れ上昇したと説明した。

（４）雇用

（ア）２０２１年のコロンビアの雇用（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エスペクタドル」紙、１日）

国家統計庁（DANE）は、２０２１年の失業率を公表し、２．２ポイント減少の１３．７％とした。新型コロナウイルス流行により２０２０年に失われた２４０万人の雇用の半分を回復としたが、最低賃金未満の雇用（４５．４％）など多くの課題があるとした。

（イ）２０２２年の失業率を１１．７％と予測（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、８日）

中央銀行は労働市場報告を発表し、２０２２年の全国失業率予測を１０．５％から１３．０％の間で中央値は１１．７％とした。

（ウ）１月の失業率は１４．６％（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、２８日）

国家統計庁（DANE）は、１月の失業率は１４．６％で前年同月の１７．５％と比べ２．９ポイント低下したが、前年１２月の１１％と比べ高いと明らかにした。

（５）衛星サービスの新たなモデル（「ポルタフォリオ」紙、「エスペクタドル」紙、４日）

情報技術・通信省は、２０２２年決議第０３７６号により、衛星サービス提供のため新たなモデルを定めたと説明。これにより、中期的に投資活動の増加とユーザーサービスの改善が予想される。バルデラマ大臣は、アクセスが困難な地域での接続性の改善、衛星インターネットアクセス数の増加とデジタルデバイド解消への貢献を期待とした。

（６）メデジンメトロ８０番通り線の入札開始（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、４日）

メデジン市は、新しいメトロの８０番通り線の建設請負業者入札プロセスを開始した。入札期間は３ヶ月で、落札者は６月に公表するとした。契約額は１．７兆ペソを予定。

（７）政府はボゴタメトロ２号線を支援（「ポルタフォリオ」紙、９日）

オロスコ運輸相はロペス・ボゴタ市長と会談し、ボゴタメトロ２号線計画への支援を確認した。フィージビリティ調査は２月中に終える見込みで、政府との協調融資協定が待たれる。２号線は、１号線が合流するカラカス・アベニューの７

2番通りから延びる路線となる。

(8) 連帯収入を拡大(「ポルタフォリオ」紙、「エスペクタドール」紙、9日)

社会繁栄局は、3月から連帯収入プログラムの対象世帯を300万世帯から100万世帯拡大すると発表した。世帯の受取り月額も増額される。最貧困世帯のインフレの影響抑制を意図したものとされる。

(9) ルミチャカーパスト計画で8億米ドルの資金を調達(「ポルタフォリオ」紙、11日)

ユニオン・デル・スル・コンセッショナリアは、第4世代道路計画のルミチャカーパスト計画のため長期資金を調達した。同調達には、国家開発銀行(FDN)のほか、国際金融機関であるJPモルガン・チェース銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行などが参加した。

(10) 2021年の製造業は15.9%増加(「ラ・レプブリカ」紙、14日)

国家統計庁(DANE)は、2021年の製造業の生産は前年と比べ15.9%増と発表。2020年の製造業は▲8%であったが、この数値により相殺とした。

(11) バイオ燃料は24%増加(「エスペクタドール」紙、15日)

コロンビアバイオ燃料連盟は、2021年のバイオ燃料需要は63万4,000トンに達し、2020年より24%増加し、史上最高の2018年(55万2,000トン)と比べても15%増加と指摘した。

(12) 農業投入物の関税の引下げを発表(「ラ・レプブリカ」紙、16日)

レストレポ財務・公債相は、肥料など農業投入物のコストが急騰しているとし、2021年に20%増加した食料生産コスト削減のため、290の農業投入物の関税の引下げを発表。

(13) CRCのネットワークの近代化を促す規制(「ラ・レプブリカ」紙、17日)

通信規制委員会(CRC)は、電気通信ネットワークの近代化のため技術移行を促進する決議第6522号を公表し、相互接続とアクセスに関する規制を改めた。ユーザーの権利保護、ネットワーク近代化、技術移行促進のビジョンが含まれる。VoLTE又は4Gネットワークの相互接続が容易となり、より明瞭な音声通話が実現することなどを強調した。

(14) アンティオキア県で5,000人近くの雇用を生み出す道路建設

（「ラ・レプブリカ」紙、１７日）

運輸省道路院は、合法化、再活性化ビジョン２０３０（Vías para la legalidad y la reactivación a 2030）プロジェクトの枠組みの中で約１．５兆ペソの投資によるインフラ工事を行うとした。同県での４，９００人以上の雇用創出、都市部とカリブの港のアクセスの改善などを期待。

（１５）中国のコロンビアでの投資計画（「エル・ヌエボ・シグロ」紙、１８日）

プロコロンビアによると、中国からの投資は、再生可能エネルギー、ソフトウェア、IT、インフラ、金属加工、小売り、病院、投資ファンドに向けられており２０２１年には前年から６８．４％増となる１０億７，８００万米ドルの１３の投資計画があった。２０１８年から２０２１年にアジアでは計画数で３８計画の中国がリードし、韓国の２９計画、日本の２２計画、インドの２０計画が続くとした。

（１６）データインフラ計画を公表（「エスペクタドル」紙、１８日）

情報技術・通信省は、データベース経済の発展とデジタル変革の促進を目的とした２０２２年決議第４６０号に基づき、国家データインフラ計画（PNID）及びロードマップを公表した。主にデータトラスト（データ交換）、共通データ、データマーケット、データポータルといった各セグメントでの、データの使用、交換の新たなメカニズム構築を提案。

（１７）農業融資に１，１４０億ペソ割当て（「エル・ヌエボ・シグロ」紙、１８日）

農業・地方開発省は、中小生産者を支援するため、補助金付き金利クレジットプログラムに１，１４５億ペソを割り当てた。同省によると、２０２２年の生産継続のため生産者は金利を補助される。

（１８）１月の政府の総債務は縮小（「ポルタフォリオ」紙、２１日）

財務・公債省は、１月の政府の総債務を７２０兆５，８００億ペソ、GDP比で５６％と発表した。２０２１年の７２４兆５，８００億ペソ（同６１．５％）と比べ０．５％債務が縮小した。２０２１年の中期財政枠組（MFMP）の目標は６６．８％であった。

<対外経済関係>

（１）水素計画でオランダと協力（「ポルタフォリオ」紙、５日）

鉱山・エネルギー省と運輸省は、水素ロードマップを前進させる、オランダ・ロッテルダム港との覚書に署名した。コロンビアは、水素輸出国を探している同

港から、販売、輸送ロジスティクスの経験を学び、このタイプのエネルギーの生成の研究を進めることが可能。同覚書では、両国間の水素輸出入ルート構築のための対話を予定。

（２）オランダ、ルクセンブルクとの二重課税防止条約に署名（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、１７日）

ドゥケ大統領は、ルクセンブルクとの二重課税防止条約に署名したのに続き、オランダとの条約にも署名した。貿易関係強化と投資促進が期待される。

主な経済指標

経済活動指標	2020/12	2021/10	2021/11	2021/12
国内総生産(四半期)(DANE): %	-3.6	10.8	10.8	10.8
経済活動指数(DANE): %	-2.5	9.4	10.3	11.8
経済活動指数第1次産業(DANE): %	-4.0	1.9	7.5	2.9
経済活動指数第2次産業(DANE): %	-10.5	8.9	10.5	10.6
経済活動指数第3次産業(DANE): %	-0.1	10.7	10.8	13.3
エネルギー需要(XM): GWh	6,115	6,490	6,290	6,429
エネルギー需要-前年同月比(XM): %	-1.6	6.4	6.7	5.0
雇用				
全国平均失業率(DANE): %	13.4	12.0	11.5	11.1
主要13都市失業率(DANE): %	15.6	12.9	12.2	11.4
消費				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO): %	-10.4	-1.3	-1.4	-7.0
実質小売売上高指数(DANE): %	-2.8	14.2	7.4	15.9
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS): 台	26,889	23,343	23,619	25,303
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS): 台	188,665	201,575	225,194	250,497
物価				
消費者物価上昇率-前年同月比(DANE): %	0.38	0.01	0.50	0.73
消費者物価上昇率-前年比(DANE): %	1.61	4.58	5.26	5.62
生産者物価上昇率-前月比(DANE): %	-0.87	2.54	2.52	0.81
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省): ペソ/ガロン	8,350	N/A	N/A	9,192
生産				
実質工業生産指数(DANE): %	1.5	10.1	13.9	13.1
実質工業売上高指数(DANE): %	-1.2	9.6	14.2	11.2
新規建設着工承認面積(DANE): m ²	2,427,336	1,412,493	1,693,062	2,417,961
コーヒー生産量(FNC): 千袋(60Kg)	1,743	1,012	1,131	1,385
コーヒー生産量-前年同月比: %	4	-13	-22	-21
コーヒー価格(IOC)/ 11月から "SUAVE": USD	169.99	257.13	273.64	291.95
石油生産量(日量)(鉱山省): バレル	760,018	740,320	747,772	745,325
石油生産量-前年同月比(鉱山省): %	-13.9	-1.5	-1.7	-1.9
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省): バレル	781,369	734,366	735,585	736,397
石油価格WTI: USD / バレル	47.02	81.48	79.15	71.71
金融				
政策金利(中央銀行): %	1.75	2.00	2.50	3.00
為替 月初(中央銀行): COP	3,591.84	3,812.77	3,784.44	4,004.54
為替 月末(中央銀行): COP	3,432.50	3,784.44	4,010.98	3,981.16
為替 最高値(中央銀行): COP	3,591.84	3,812.77	4,010.98	4,023.68
為替 最安値(中央銀行): COP	3,410.82	3,725.75	3,778.69	3,886.87
株式指数 月初(中央銀行): COP	1,285.12	1,370.25	1,390.50	1,418.24
株式指数 月末(中央銀行): COP	1,437.89	1,394.04	1,373.84	1,410.97
株式指数 最高値(中央銀行): COP	1,450.72	1,426.20	1,404.52	1,431.94
株式指数 最安値(中央銀行): COP	1,285.12	1,370.25	1,298.64	1,353.91
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE): 百万米ドル	-880	-1,515	-1,842	-1,108
輸出額(FOB)(DANE): 百万米ドル	3,029	3,799	4,156	4,542
輸出額(FOB)-前年同月比(DANE): %	-9.0	43.6	64.7	44.6
輸出額(FOB)年内累計(DANE): 百万米ドル	31,057	32,690	36,845	41,387
輸入額(CIF)(DANE): 百万米ドル	4,143	5,810	6,545	6,210
輸入額(CIF)-前年同月比(DANE): %	1.6	56.8	56.3	49.9
輸入額(CIF)年内累計(DANE): 百万米ドル	43,489	48,346	54,891	61,101
労働者送金(中央銀行): 百万米ドル	662	664	817	831